

# RT-edge インストール手順書（外部通信コンテナ）

---



**株式会社マイクロネット**

<http://www.mnc.co.jp>




TEL: +81(0)299-90-1733

FAX: +81(0)299-92-8557

## 目次

1	概要 .....	3
2	インストールの流れ .....	3
3	製品メディア .....	4
3.1	実行環境コンポーネントのインストール .....	4
4	改訂履歴 .....	5

### 本書で使用するマークについて

	ノート: 操作方法や手順等の補足情報や注釈を説明しています。
	情報: 製品を利用する上で有効な豆知識となる説明をしています。
	警告: 製品仕様上注意が必要な事象について説明しています。

Windows、Visual Studio は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

INtime は、米国 TenAsys Corporation の登録商標です。

TenAsys®, INtime®, eVM® and iRMX® are registered trademarks in USA of the TenAsys Corporation.

EtherCAT®は、ドイツ Beckhoff Automation GmbH の登録商標であり、特許で保護されている技術です。

その他、本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

本書の内容に関しては、予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※本ドキュメントの内容は予告なく変更される可能性があります。

また、本ドキュメントの無断転載・使用を固く禁じます。

## 1 概要

本ドキュメントでは、外部通信コンテナのインストール方法について記述しています。

## 2 インストールの流れ

本コンテナのインストールは以下の流れで行います。

実行環境  
インストール

本コンテナの実行環境をインストールします。  
「3.1 実行環境コンポーネントのインストール」を参照  
下さい

本マニュアルで解説

### 3 製品メディア

製品メディアには実行環境コンポーネントが含まれます。

#### 3.1 実行環境コンポーネントのインストール

RTedgeEXTIF.zip を RT-edge 配置ディレクトリ (C:¥RTedge) へ解凍します。

ファイルは以下の構成になっています。

表 1 実行環境コンポーネント

フォルダ階層	ファイル名	説明
RTedge¥bin	EgExtIF.exe	各通信プロトコルを利用した外部通信を行い Web サーバーや Cloud などの外部データを RTCD に展開、またサーバーからのファイルダウンロードやサーバーへのファイルのアップロードを行います。
RT-edge¥bin	EgExtIF.xml	本コンテナ用のコンフィグファイルで、タグ設定等を行います。
RTedge¥bin	eWrapFTP.dll	FTP 通信を利用し、外部サーバーのファイルを RT-edge コントローラへダウンロード、RT-edge 内のファイルを外部サーバーへアップロードすることが可能なライブラリです。
RTedge¥bin	eWrapSocket.dll	TCP 通信ドライバと RTCD とを繋ぐライブラリです。TCP 通信でデータの送受信を行う場合に使用します。
RT-edge¥bin	eWrapMQTT.dll	MQTT 通信ドライバと RTCD とを繋ぐライブラリです。MQTT 通信でデータの送受信を行う場合に使用します。
RTedge¥bin	HiFTP.dll	FTP 通信 ドライバ用ライブラリです
RTedge¥bin	HiTCP.dll	TCP 通信 ドライバ用ライブラリです。
RTedge¥bin	HiMQTT.dll	MQTT 通信 ドライバ用ライブラリです。

## 4 改訂履歴

版数	発行日	改定内容
第 1 版	2022 年 12 月	初版発行